

(学年) 2、3、4年次、(教科・科目) 家庭・生活と福祉

一斉学習

(単元) 介護の実習

(本時のねらい)

高齢者の心身の特徴を理解した上で、根拠に基づいた「高齢者介護」について学ぶ。安全安楽で自立を目指した介護の基本的知識と技術を身につけ、介護技術を総合的に活用する必要性が理解できるよう指導する。

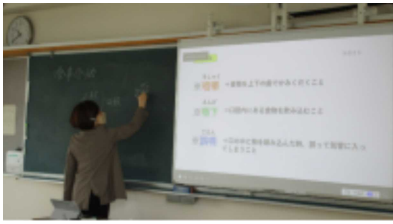
(ICT活用方法)

従来は、教科書の図で説明した後、生徒同士がペアになり、介護実習を行っていた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う実習等の中止で介護実習の実施ができず、介護の技術の実際を学び、技術を習得するためにはどのような授業にするべきか迷っていた。令和3年11月から電子黒板が使用できるようになったことで、介護技術の模範を画像や動画で見せることができるようになり、ICTの活用で実習の中止をカバーすることができたと感じている。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項の留意点	ICT活用方法
導入 5分	・ 前時の振り返りと、本時の学習内容について知る。	・ キーワードをいくつか質問し、前時の復習をさせる。	
展開 30分	・ 嚥下と誤嚥について理解する。 ・ 食事の基本姿勢について理解する。 ・ 嚥下しやすい食品と誤嚥しやすい食品について理解する。	・ 嚥下のしくみと誤嚥の危険性について知らせる。 ・ 電子黒板を使用して、実際の様子を具体的・実践的に見せ、理解させる。	・ 電子黒板に生徒が見やすいワークシートや絵、写真等の画像や動画などを精選し投影する。
まとめ 5分	・ 本時の学習内容を振り返る。	・ 本時のまとめを行う。	・ 電子黒板に本時の学習内容のまとめを投影しながらまとめを行う。

(授業の様子)



(板書と ICT)

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

黒板への板書は、書く時間がかかり授業速度が遅くなるが、あらかじめ作成しておいた教材を投影することで、スムーズに授業が進められた。嚥下と誤嚥の説明では、動画を用いた説明を行ったが、人体の断面図がリアルに映し出されることで、生徒の興味・関心を促すことできたように思われる。食事の基本姿勢の説明についても同様のことが言える。今後、実習が実施できるようになった際には、実習の様子を録画し、後に動画で復習することでさらに介護技術の習得が進むよう ICT の活用に努めていきたい。